

4. シンポジウムの開催について

区民・事業者と協働して公園づくりを進めていくスタートとして、公園づくりについて考えるシンポジウムを開催します。近年の公園づくりの事例や傾向、区民参加の公園づくりについて、専門家のお話を聞きます。ぜひ、ご参加ください。

日時：令和元年9月22日(日) 13:00~15:00

場所：玉川区民会館集会所(世田谷区玉川1-20-21)

プログラム：

1.基調講演「公園革命時代のこれからの公園」

進士 五十八氏(福井県立大学長)

2.事業紹介「玉川野毛町公園拡張事業」について

3.パネルディスカッション

「区民との協働による公園づくり」

■コーディネーター 保坂展人(世田谷区長)

■パネリスト

阿部 伸太氏(東京農業大学 准教授)

坂倉 杏介氏(東京都市大学 准教授)

寺崎 百合氏(二子玉川公園サポーター) ほか



既開園区域の野毛大塚古墳のようす

※詳細は、「玉川野毛町公園拡張事業キックオフシンポジウム」チラシ、もしくは区HPをご覧ください。

5. 玉川野毛町公園拡張予定地現場見学会の開催について

現場で、基本計画(骨子)を説明し、皆さんからのご意見をお伺いします。どなたでもご参加いただけます。

日時：令和元年10月2日(水) 9:30~15:30

10月6日(日) 9:30~15:30

※雨天の場合はそれぞれ10月9日(水)、10月13日(日)に延期します。(延期予定日以降は実施いたしません)

現場見学会案内図



園内南側の樹林地のようす

6. ワークショップの開催について



現場やその周辺の状況を踏まえ、参加者の皆さんと意見を共有しながらどんな公園にしたら良いかを考えるワークショップです。多くの人にとって魅力ある公園となるように、みんなで一緒に考えましょう。

日時：令和元年11月~令和2年2月頃(全3回を予定)

定員：30人程度募集予定(3回全ての会に参加できる方)

※詳細は9月頃、公園づくりニュースや区HPでお知らせします。



玉川野毛町公園拡張事業

1号

公園づくりニュース

令和元年8月
発行者：世田谷区
みどり33推進担当部
公園緑地課

基本計画(骨子)をとりまとめました!

1. はじめに

世田谷区では、玉川野毛町公園の既開園区域の約3.8haに加え、国土交通省等タカ宿舎跡地の一部約2.8haを拡張する玉川野毛町公園拡張事業計画を進めています。

これまで、玉川野毛町公園の公園拡張の基本的な考え方として「みどりとみずをつなぐネットワークづくり」、「歴史・文化を感じる空間づくり」、「安全・安心の公園づくり」の3つの柱を掲げており、公園利用者や住民、事業者と対話をしながら公園計画づくりを進めていくこととしています。

昨年度は、公園利用者や公園周辺にお住まいの住民の皆様に対し、アンケート調査や現場見学会を通じて、玉川野毛町公園拡張に対するご意見を頂きました。これらを踏まえつつ、公園計画の大まかな方針を定めた玉川野毛町公園拡張事業基本計画(骨子)(平成31年2月)をとりまとめましたので報告いたします。(詳しくは、中面をご覧ください。)

2. 拡張予定区域の整備スケジュールについて(予定)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画・設計	[Bar]					
工事				[Bar] 開園		
	地域の皆さんのご意見をお聞きしながら公園計画づくりを進めていきます。			開園を見据え、地域の皆さんと協働で行う公園の管理運営について検討していきます。		

3. 住民参加の公園づくりについて

以下の方法で、住民参加を行いながら公園づくりを進めてまいります。具体的な内容は、その都度お伝えする予定です。



問い合わせ

世田谷区みどり33推進担当部公園緑地課 建設担当 津田、小野

〒154-8504

世田谷区世田谷4-24-21 城山分庁舎1階

電話：03-5432-2478

FAX：03-5432-3083



世田谷みどり33

背景と目的

世田谷区立玉川野毛町公園は、昭和31年に都立公園として開園し昭和40年に区へ移管されて以来、長年にわたり、みどりのオープンスペース及びレクリエーションの場として地域住民に親しまれてきた。このたび、隣接する国土交通省等々力宿舎跡地の一部（約2.8ヘクタール）を世田谷区立玉川野毛町公園拡張用地として整備する計画を進めている。公園整備の基本的な考え方や視点、進め方等を示した「世田谷区立玉川野毛町公園拡張事業の基本的な考え方について」（平成30年5月）を踏まえ、基本計画の策定にあたり骨子をとりまとめる。

「世田谷区立玉川野毛町公園拡張事業の基本的な考え方について」

【公園拡張のテーマ】

「世田谷の先人たちを育んだ 豊かなみどり、歴史文化を知り、育み、次世代へつなぐ場」

【公園拡張の基本的な考え方】

みどりとみずのネットワークづくり

- ・国分寺崖線のみどり、等々力溪谷の23区でも貴重で豊かな自然を活かし、生きものの拠点となり、都市生活における貴重な自然体験の場を提供する。
- ・草地から多様な樹林構造もったみどりを創出し、豊かな生態系を創出し、生きものネットワークの強化をする。

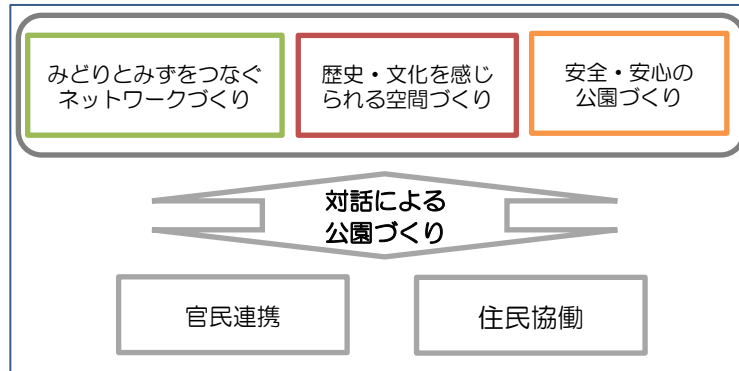
歴史・文化を感じられる空間づくり

- ・有史以来の世田谷の歴史を学び、次の時代に引き継ぎ、文化を育てる場をつくる。
- ・古墳等の文化財を通して、多摩川や国分寺崖線等の自然環境と歴史文化を守り伝える場をつくる。

安全・安心の公園づくり

- ・地域の動線を継承し、にぎわいの場をつくり、子どもからお年寄りまで、安心して訪れることができる楽しい場をつくる。
- ・地域の防災活動拠点、広域避難場所、緊急輸送道路（環状八号線）を踏まえた災害対応拠点をつくる。

公園拡張計画の進め方（イメージ）



基本計画（骨子案）

（仮）「世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり、歴史文化を知り、育み、次世代へつなぐ場」
⇒世田谷のみどり（生物多様性の拠点）と歴史・文化の拠点

公園計画上の視点

拡張区域は、既存のみどり資源をいかし、多目的に利用できるオープンスペースとみどりをいかした場づくりを行う。

■みどりとみずのネットワークづくり

- ・みどりと歴史文化の拠点として、拠点となる施設とフィールドの整備検討を行う。
- ・受け継いだ既存の樹木をいかし、武蔵野のみどりをいかしたみどりの拠点を形成する。
- ・生物多様性に配慮した樹林地の育成や維持管理を住民参加で行い、みどりや生きものと触れ合える自然体験の場（フィールド）づくりを通じて生きもの拠点づくりを行う。

■歴史・文化を感じられる空間づくり

- ・「本物」の古墳に立ち、触れ、歴史を体感できる空間づくりを行う。
- ・野毛大塚古墳の今現在、見ることでできない遺構（周濠等）を意識した公園づくりを行う。

■安全・安心の公園づくり

- ・にぎわいや防災、日常利用と多目的に使用できるオープンスペースを確保する。
- ・防災倉庫の設置や地域の防災訓練を行う空間を確保する。
- ・災害時やイベント等の利用を想定し、大型車両の乗り入れが可能な施設整備を行う。
- ・住宅と接する公園境界部は、公園のみどりやオープンスペースをいかした空間づくりを行い、住環境の向上と安全安心な歩行空間を確保する。

既開園区域及び拡張区域の公園利用もしくは、公園滞在の質を向上するための便益施設等の整備検討を行う。

- ・等々力溪谷公園等の地域観光利用者の取り込みを想定した公園づくりを行う。
- ・既開園区域（第二種住居地域、第一種中高層住居地域）、拡張区域（第一種低層住居専用地域）の用途地域を踏まえた公園づくりを行うものとし、既開園区域と拡張区域とで機能分担を行う。
- ・建物施設の設置については、世田谷区公共施設等総合管理計画を踏まえ、既開園区域内の施設も含めた統廃合など、効率化を検討する。
- ・便益施設等の設置にあたっては、公園利用や地域性に配慮した施設の導入について官民連携を踏まえて検討する。

主なゾーニングと求められる公園機能

エントランスゾーン

既開園区域と一体感があり、新たな公園の顔として、気軽に立ち寄れる開かれたエントランスの整備
【導入を検討する施設】駐車場、駐輪場、案内サイン、トイレ、便益施設等

拠点となる施設

世田谷区のみどり（生物多様性の拠点）と歴史・文化の拠点及び、公園利用や地域防災の拠点としての機能、現地の情報発信や普及啓発、体験や学習の場、住民協働等の活動に必要な機能を複合化した施設
等々力溪谷公園等の地域観光利用者の取り込みも想定した休憩・休息の場や便益機能を有する施設
【導入を検討する施設】ビジターセンター（案内、展示、学習、活動拠点等）機能、雨の日でも楽しめる施設、トイレ、便益施設、防災倉庫等

古墳広場ゾーン

エントランス、みどり、野毛大塚古墳との連続性や遺構（周濠等）をいかし、公園の中央に位置する多目的に使えるオープンスペースの整備
【導入を検討する施設】芝生広場、緑陰、便益施設、多目的利用に対応したインフラ整備（水道、電気、wi-fi）等

みどりゾーン

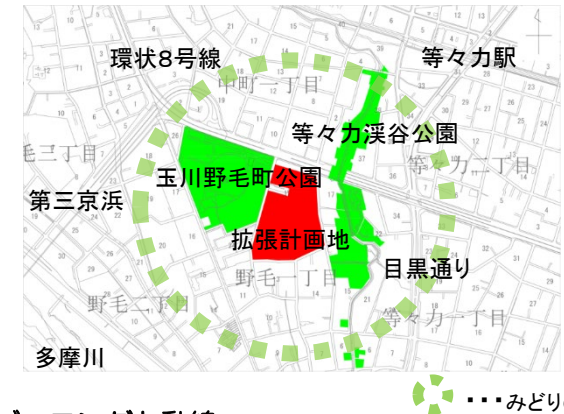
世田谷区のみどり（生物多様性）の拠点とするため、既存の樹木と在来植生をいかした武蔵野の雑木林により「生きもの拠点」となるフィールドの整備
【導入検討する施設】既存樹木を活用した樹林、自然観察場、体験施設、休憩施設、便益施設等

公園と住宅地との敷地境界部

公園のみどりをいかしつつ、隣接する住宅のプライバシーに配慮した、安全・安心な公園境界部の整備
【導入検討する施設】セットバック歩道、緩衝緑地、照明等

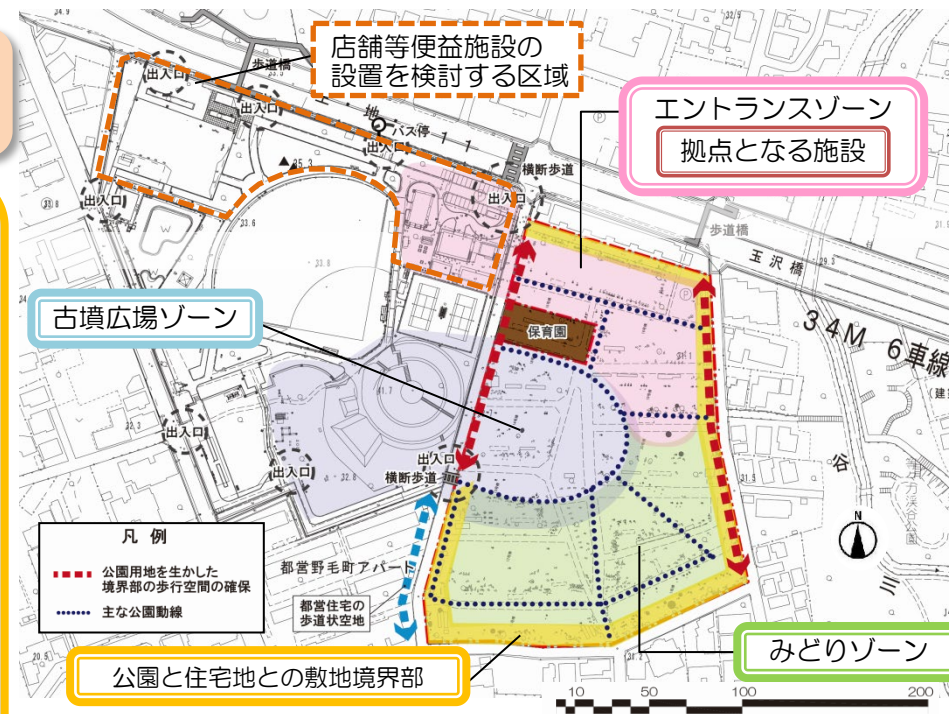
■拡張事業計画の対象範囲

玉川野毛町公園の既存開園区域、拡張区域、等々力溪谷公園を一つの拠点として捉え、計画を進める。



■拡張区域ゾーニングと動線

環状八号線による横断箇所の限定要因等を踏まえ、既開園区域の出入口や周辺道路、等々力溪谷公園等からのアクセスに配慮したゾーニングと動線計画を行う。



■スケジュール（予定）

	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3~R4	R5(2023)
拡張区域	基本計画	基本計画 基本設計	実施設計	起工・工事	工事・開園
既開園区域	対話を踏まえ既開園区域の改修計画の検討・実施				
官民連携	対話と事業手法の検討		事業者の募集、選定、事業実現に向けた作業		

拡張計画の基本的な考えを踏まえ、公園利用者や住民、民間事業者と公園計画について対話(意向や事業提案等)を進め、住民意向を踏まえた民間活力の導入を検討し、公園サービスの向上を図る。